4. NAREGI 導入報告

4-1. NAREGI ミドルウェアα版

宇佐見 仁英（国立情報学研究所）

NAREGI プロジェクトの 2005 年の研究成果である NAREGI ミドルウェアα版（内部評価用；機能評価を行うために限定したユーザに提供）を複数の機関に導入し、実証実験を実施することになった。NAREGI ミドルウェアα版は、UNICORE をベースとしており、最初に UNICORE の環境を構築し、加えて NAREGI ミドルウェアα版をインストールする必要がある。しかもそれぞれの証明書環境が異なるということもあり、各機関ともに環境構築が大変であったとの報告があった。

(1) HPC2500 でのグリッド環境の構築 [添付資料 4-1-1]（永井）

HPC2500 上に UNICORE ミドルウェアおよび NAREGI ミドルウェアによるグリッド環境を構築し、性能測定を行う予定で環境構築に着手した。UNICORE 環境は構築でき、Java で記述した並列テストプログラムの実行、及び性能測定ができた。しかしながら、NAREGI ミドルウェアでは、この時点で計算ノードとして Solaris9 がサポートされていないことが判明、HPC2500 への導入を断念した。計算ノードとして PC クラスタを使うこととし、実証計画を変更した。

(2) NAREGI-α実験環境導入状況 [添付資料 4-1-2]（南里）

NAREGI ミドルウェアα版を導入し、Workflow tool の状況報告をする予定になっていたが、NAREGI ミドルウェアα版の提供、環境構築が遅れ、残念ながら状況報告できる状況にいたらなかった。現在、最初の段階である認証局の構築を実施しているが、UNICORE と Globus 用の２つの証明書が必要であり、環境構築が大変である。今後、連成アプリケーションの実行環境整備まで実施していきたい。

(3) NAREGI α版の雑感 [添付資料 4-1-3]（黒川）

NAREGI 認証局の証明書を使い、NII の人がインストール、環境構築を行ったので、導入は比較的順調であった。簡単なアプリケーションではあるが、Workflow tool を使ったプログラム実行まで出来た。マニュアルを読まずに、兎に角、実行できたので触ってみた感想を報告した。